

第 107 回実践勉強会 実施レポート

日 時： 令和元年 5 月 28 日(火) 19 時 45 分

場 所： 大田文化の森 5 階 多目的室

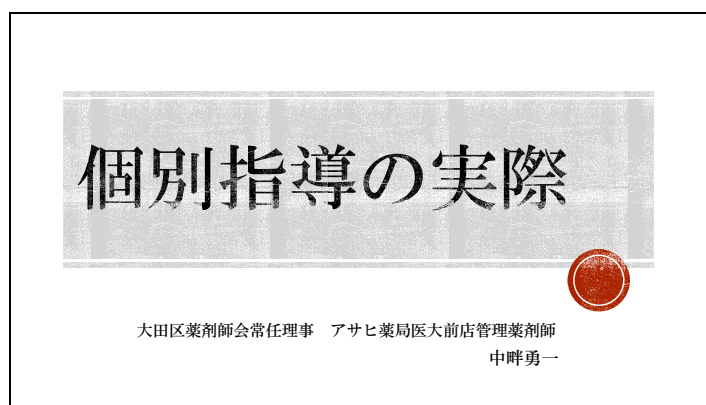
「個別指導概況と チェック ポイント

ーハイリスク・乳幼児・薬歴記入例ー」

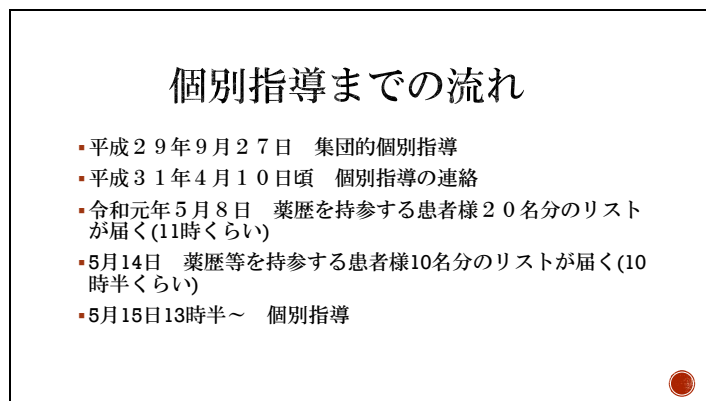
参加者 120 名

質疑応答 なし

スライド 1



スライド 2



薬歴等用意する患者様の保険

- 今回 協会健保 10名、国保一般 10名、
後期高齢者10名 いずれも東京
- 前回 協会健保 13名、国保一般 3名、
後期高齢者14名 いずれも東京
(15名+15名だった)
- それより以前は協会健保ばかりだった記憶が・・・



指導19日前(以前は9日前まで)までに提出するもので気を付けるべきもの

- 保険薬局の従事者一覧
- 調剤業務の手順についての流れ
- 電子薬歴システムの概況



当日持っていくもの (抜粋)

- 30名分1年分の処方箋・調剤録・処方箋・薬歴(最初からすべて)・指導せん・お薬手帳にシール
- 業務日誌1年分
- 審査・支払基金からの返戻・増減点通知に関する書類1年分
- 患者ごとの一部負担金徴収に係る帳簿(日毎)または日計表



指導の流れ

- 開始 15 分前に控室から呼ばれ持参物の確認をされる
 - 自己紹介
 - 事務担当から事前提出物に関する質問
 - 指導官 2 人による 30 名分の薬歴などに関する指導
 - 2 時間で終了
 - 総括
- 算定要件を満たしていない項目についてはこの場で返還命令



指導された点

- 低血糖用ブドウ糖について
保険請求できないため処方されていたら問い合わせで削除してもらおう。メーカー無償提供のを渡すのは可。または買ってもらう。問い合わせしないで保険請求しないは突合点検でNG
弊社では調剤料を取らず薬剤料のみ算定していた
- 問い合わせについて
薬歴・処方箋に 日時 誰が(フルネーム) 誰に(●●医師に等) 何を 疑義紹介したか記録する 弊社では日付が抜けていた
- 一包化加算について
一包化した理由を薬歴に毎回記録する。患者の希望や若い患者では一包化加算は算定できない 弊社では33歳の4種類くらい薬出していた患者様で指摘された



- 医師の指示通り は薬歴には使えない
- ロキソニンテープ 100mg と 50mg は 1 剤で保険請求する
- 抗がん剤などの休薬期間は薬歴に記録
- 抗がん剤の患者は患者の体重・慎重を薬歴に記録
- 嚥下困難な患者での自家製剤加算は **嚥下困難者製剤加算**
- インスリンが空打ちも含めて必要な本数出ているか確認する
- 申し送りは科ごとではなく次回来局時に
- 調剤録の訂正は訂正前のが見えるように



返還命令

- ・今回は返還命令なし おそらく1か月後に概ね妥当の通知が来るはず
他に経過観察(少しでも返還があればおそらくこれ)、再指導がある
- ・前回の返還命令
高血圧で使っているβブロッカー、抗炎症で使っているステロイドはハ
イリスク薬ではない
- ・返還方法
全患者の薬歴1年分さかのぼり同じ事例について返還(返金)する
返還先は保険者のみ(被保険者にはなし)



集団的個別指導に呼ばれたら

- 2年以内に個別指導が入ると覚悟を決める(実際は3割らしい)
- もし手書きの薬歴なら電子薬歴に変える
- 協会健保、後期高齢者、国保(いずれも東京)で加算とる際は薬
歴は特に気を付けて作成



個別指導に呼ばれたら

- 何をもっていったらいいかわからない
- 薬歴をどう充実させたらいいかわからない

ご相談ください(4回の個別指導経験あり)

